

2025年3月期  
第1四半期決算説明会

ダイジェスト版

アステリア株式会社  
(東証プライム:3853)

2024年8月9日



# アステリア株式会社

- ◆本社事業 ✓企業向けソフトウェア製品の開発・販売
- ◆子会社 ✓AI研究開発(日本)  
✓ソフトウェア開発(シンガポール、中国)  
✓企業投資(米国)

- ◆株式市場 東証プライム(3853)
- ◆設立 1998年9月
- ◆資本金 22億7,534万円
- ◆従業員数 133名(連結)

(2024年6月30日現在)

ソフト業界で  
ノーコード  
ブロックチェーン  
ウェルビーイング  
など先進分野を  
牽引!!!



# 決算概要

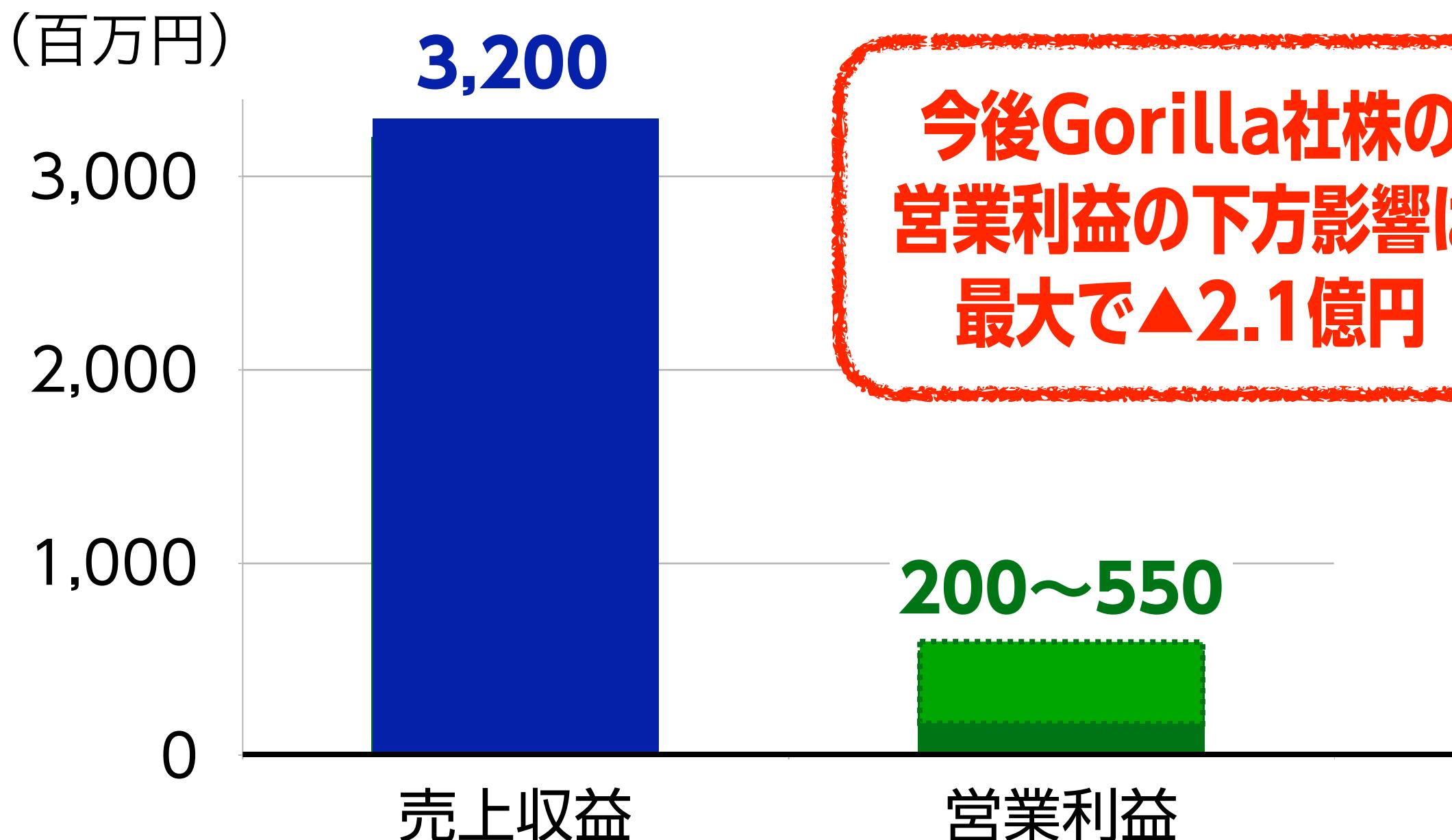
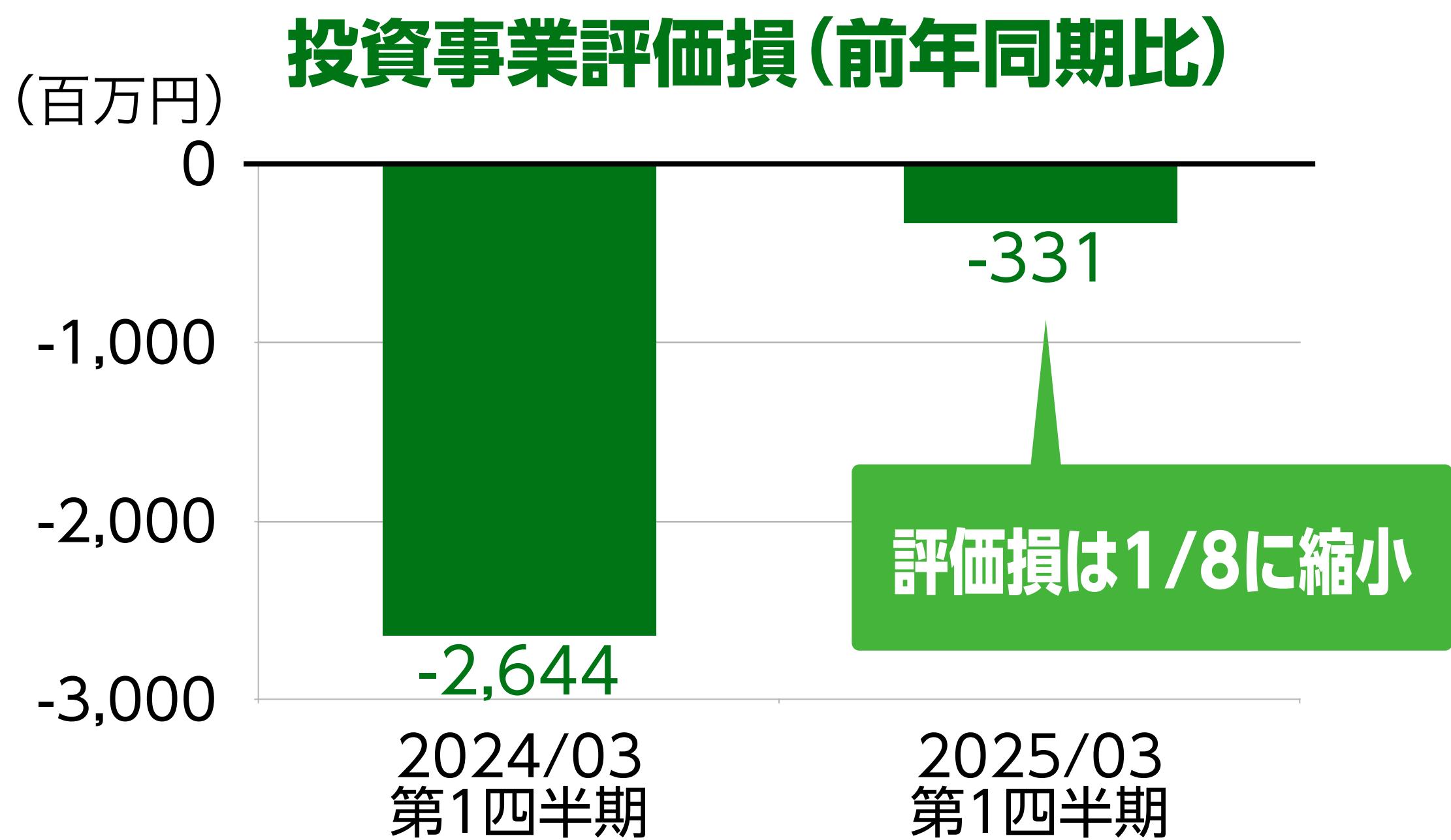
2025年3月期 第1四半期決算  
(国際会計基準 = IFRS)

【注】This Place Limited売却(2024年3月)により、非継続事業として連結から除外



# 投資事業の赤字が減少、通期連結業績は黒字予想

投資事業の評価損が  
大きく改善

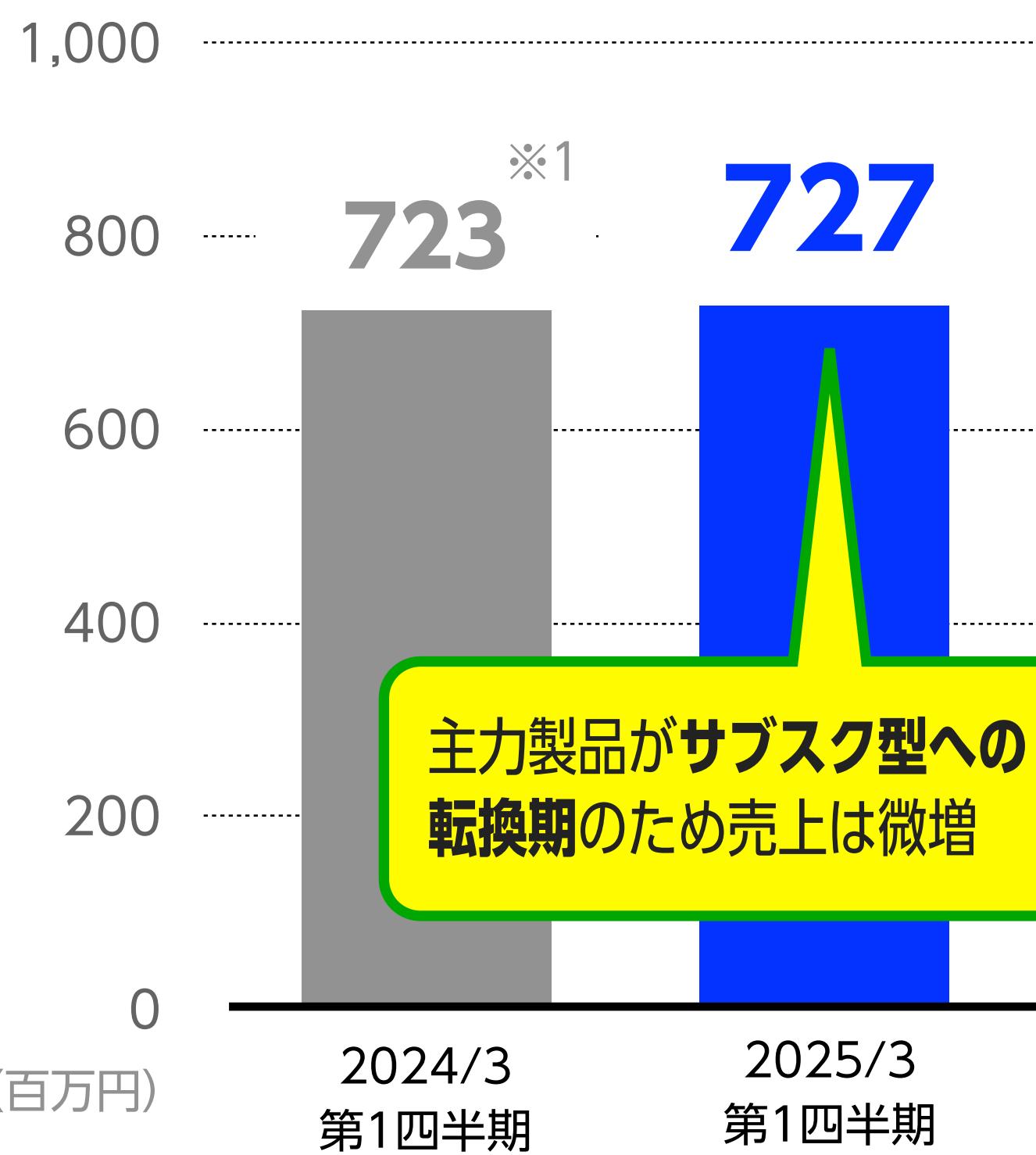


2025年3月期通期 業績予想

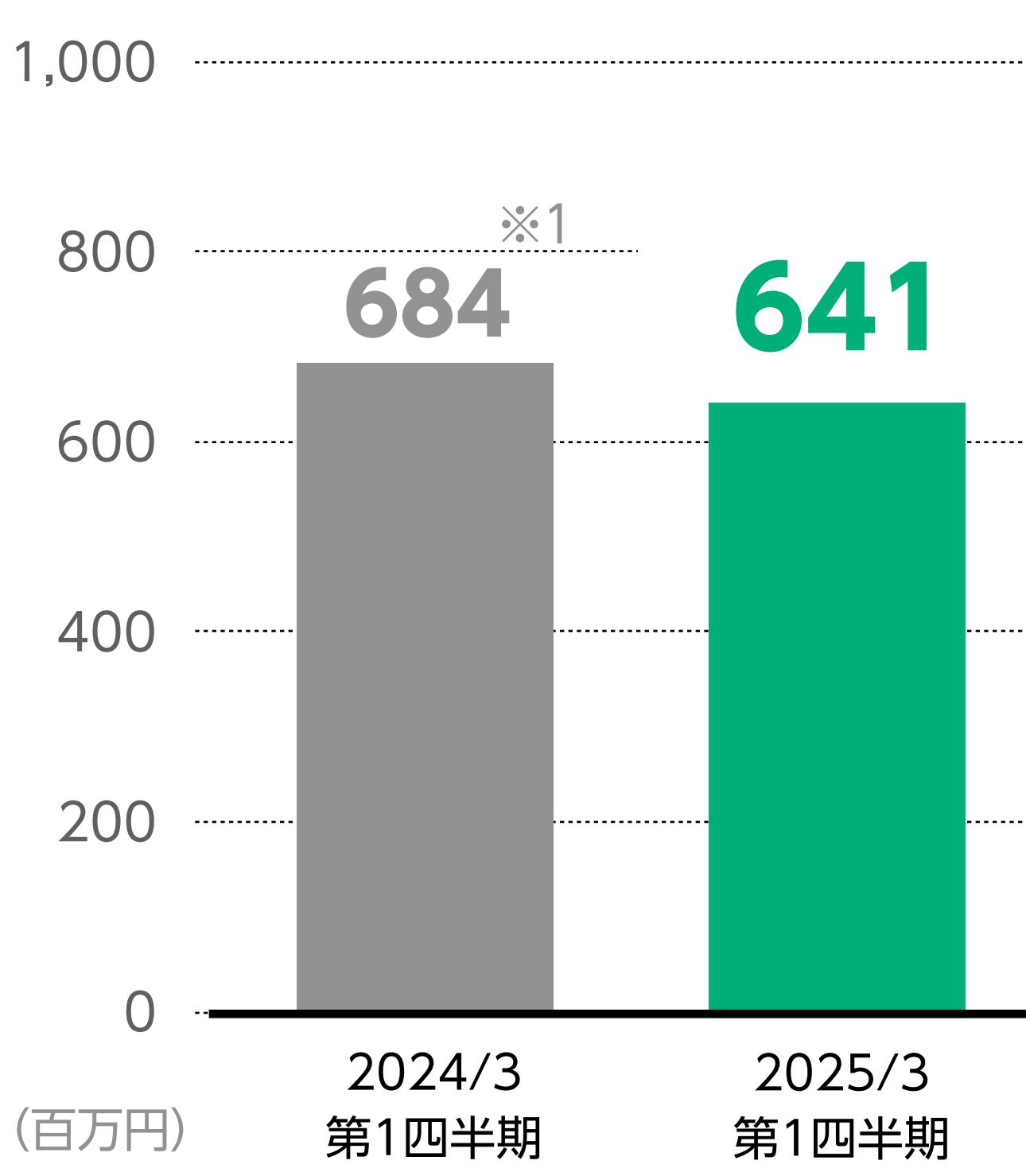
Q1評価損は想定内で  
通期予想に変更無し

# ソフトウェア事業は順調に推移 (投資事業は売上無し)

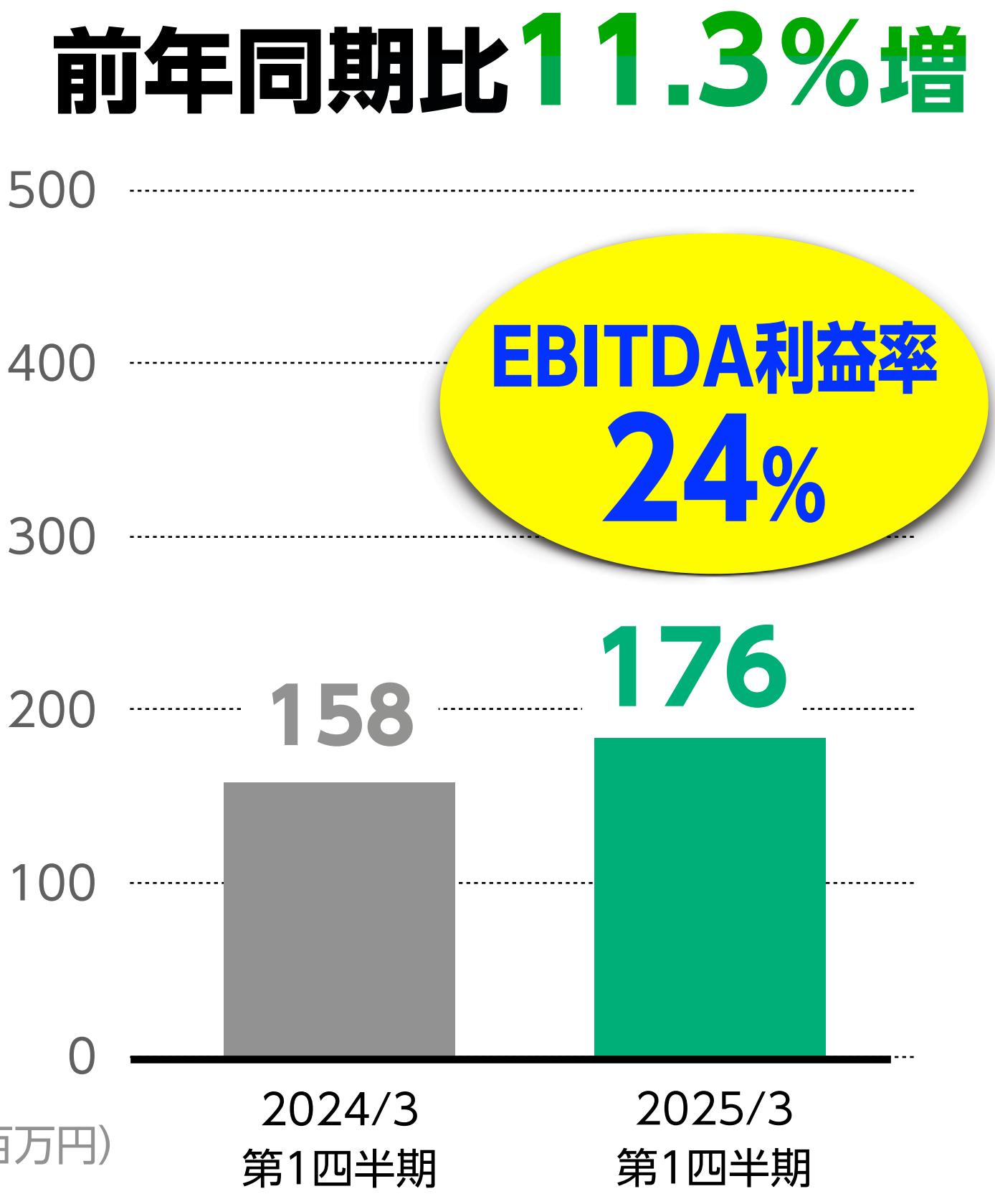
## 売上収益



## 売上総利益(粗利)



## 調整後EBITDA※2



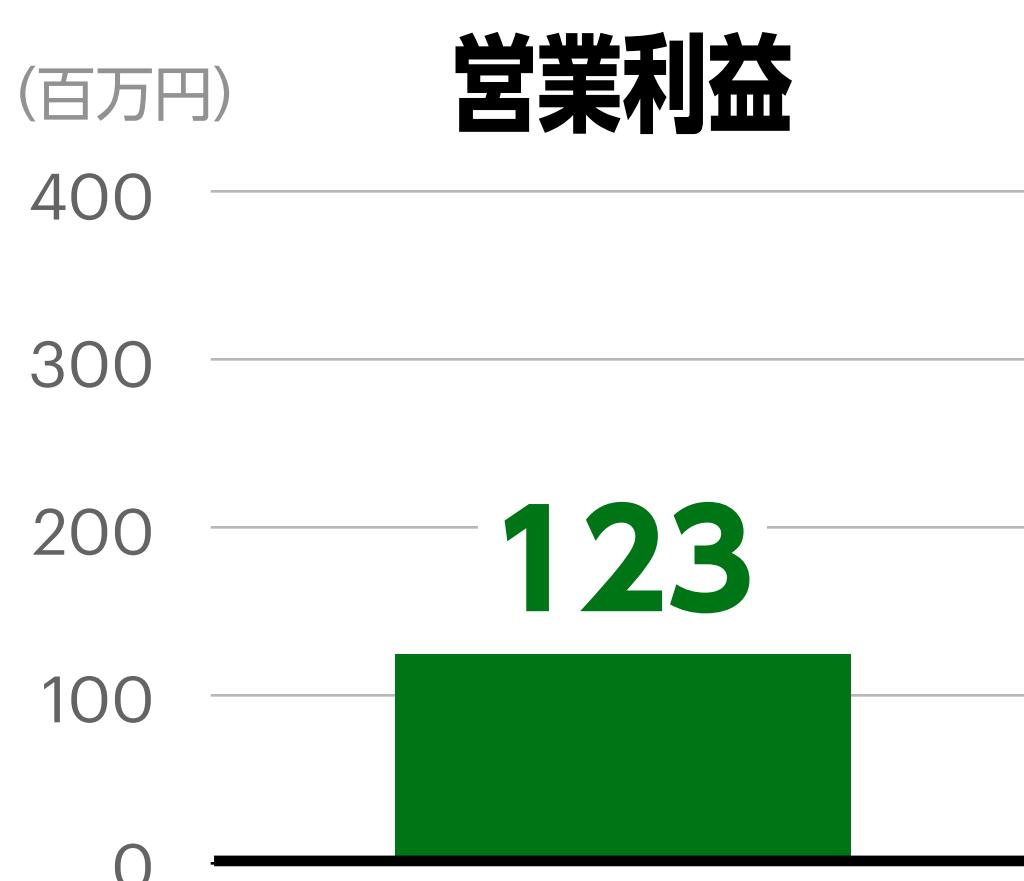
※1 This Place売却(2024年3月)により、前年同期はソフトウェア事業に国内デザイン事業(非継続)が加わった数値

※2 調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費±調整項目(のれん減損、未実現買収対価、投資事業にかかる未実現評価損益等)

# 投資事業の赤字が大幅低減するもQ1は連結赤字

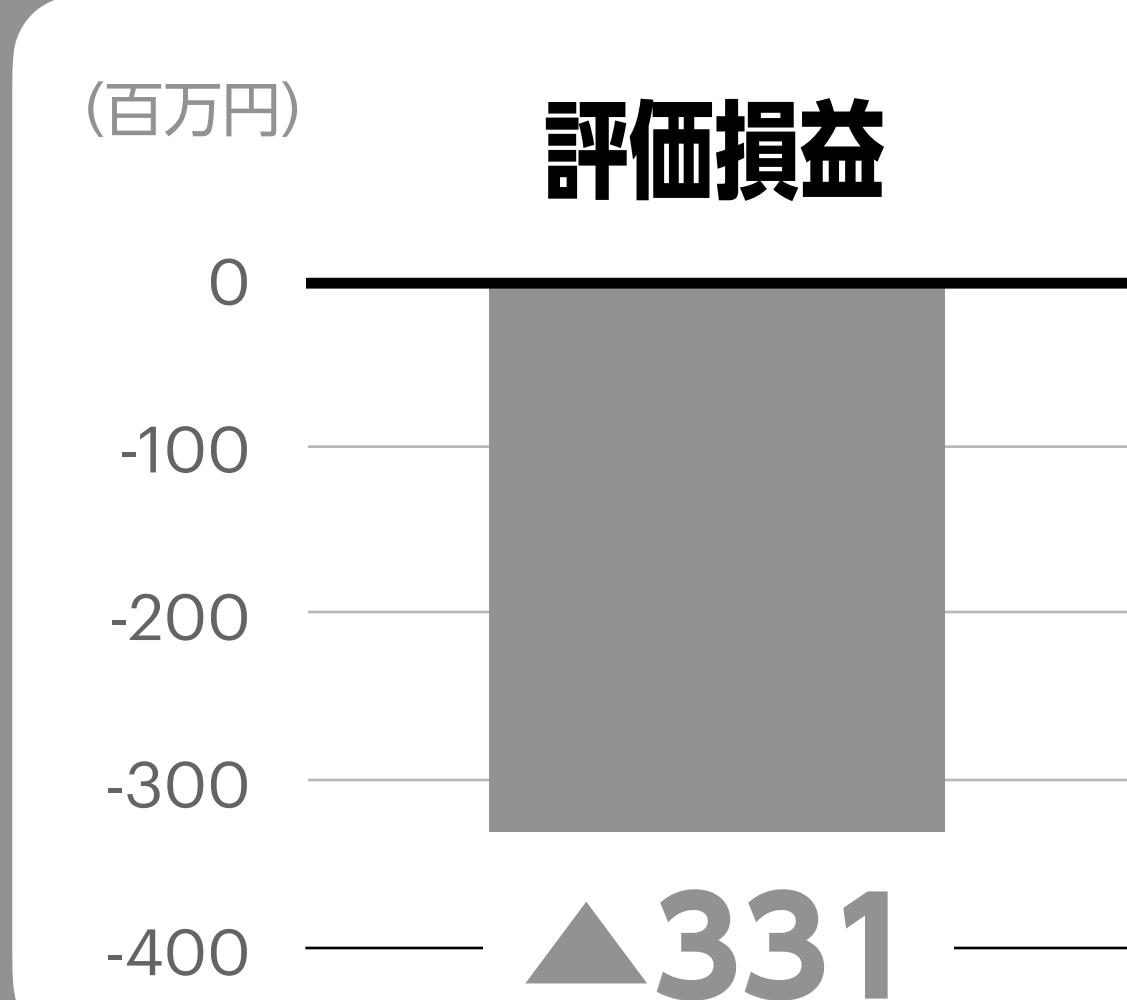
第1四半期

ソフトウェア  
セグメント

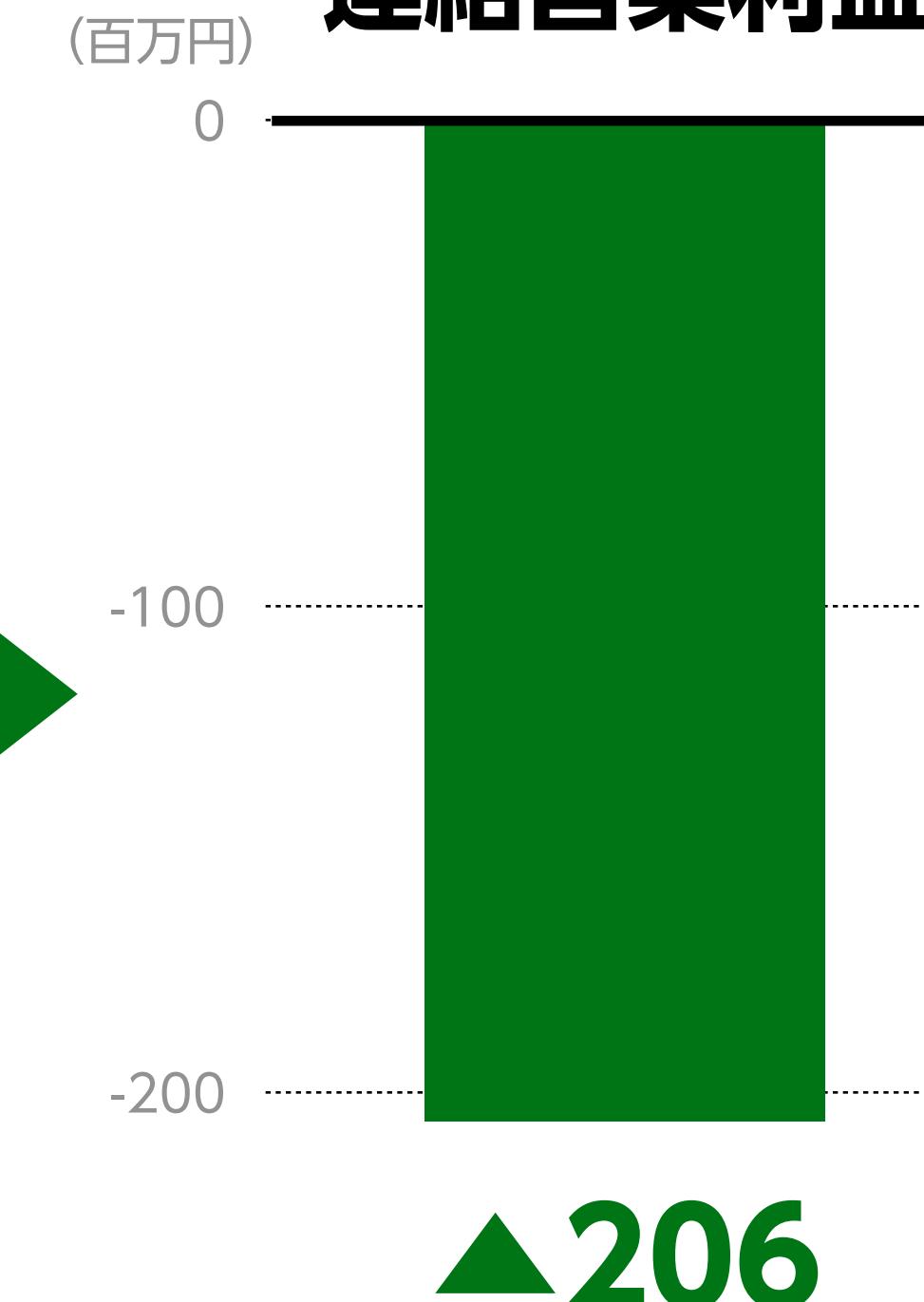


投資  
セグメント

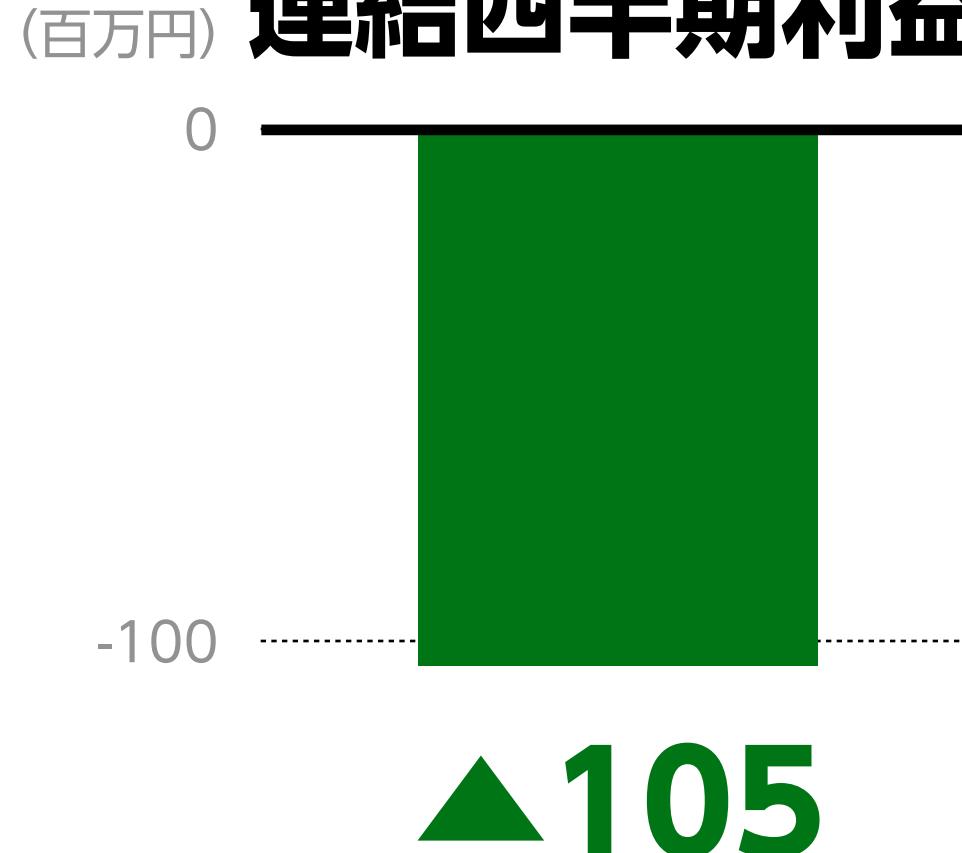
Gorilla社株価下落が  
主な減益要因



連結営業利益



親会社の株主に帰属する  
連結四半期利益



投資事業の評価損益は  
FVTPL※により  
連結営業利益に影響

# 新たな構成でソフトウェア事業の成長を牽引

先端技術と海外市場展開  
による成長を担う

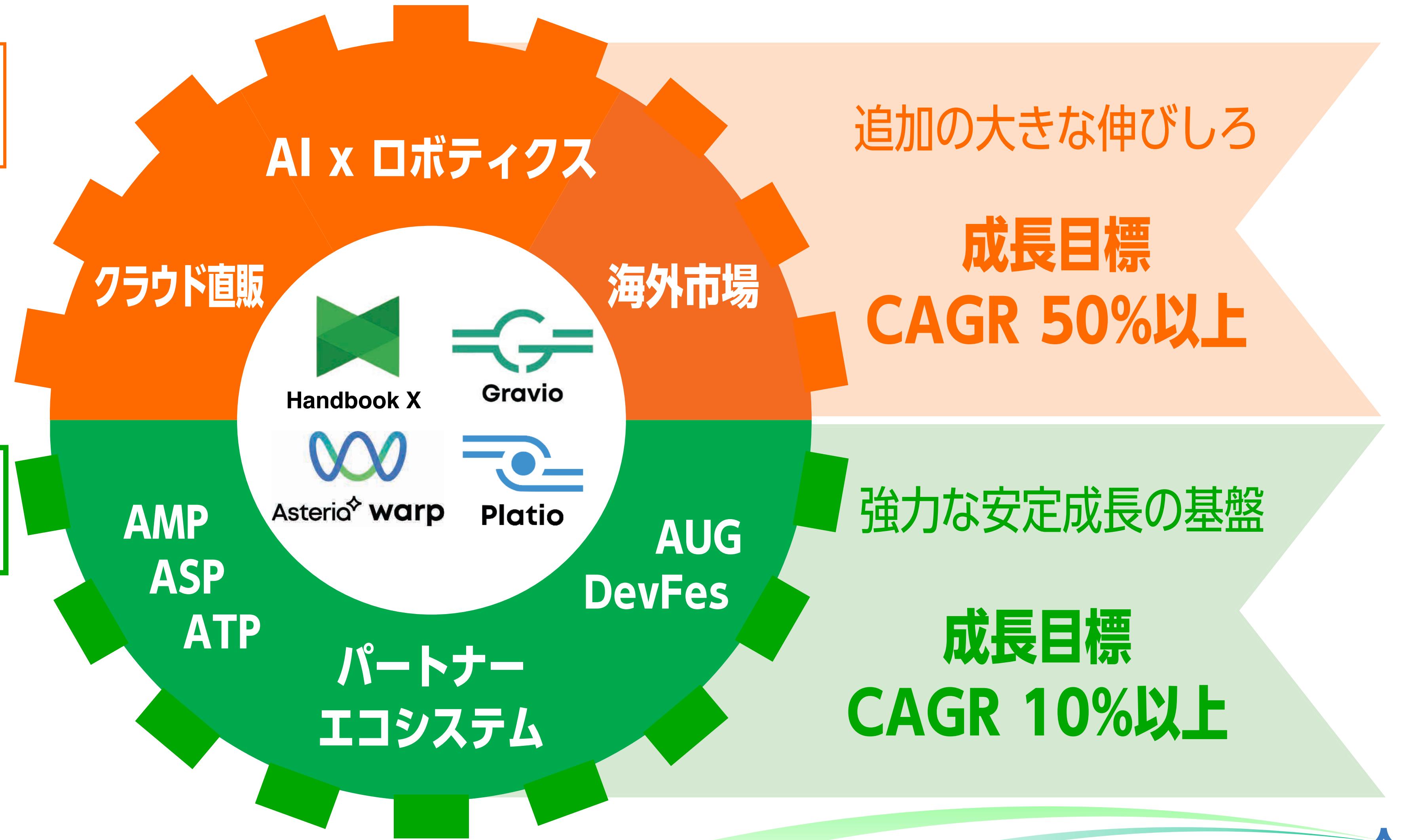
AOG事業グループ

Advanced-tech &  
Overseas Growth

パートナー エコシステム  
による成長を担う

ELG事業グループ

Eco-system Led Growth



# ソフトウェア事業の中心となる製品群

## 「ノーコード」かつ「つなぐ」製品を提供



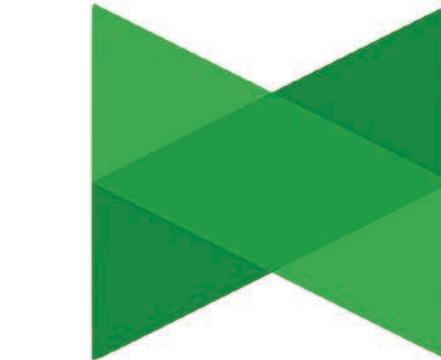
Asteria<sup>☆</sup> warp



Platio



Handbook



Handbook<sup>®</sup> X



Gravio

シェア50%超  
1万社超に導入

“3日でアプリ”  
成長率No.1

自律・分散・協調  
時代の情報整理

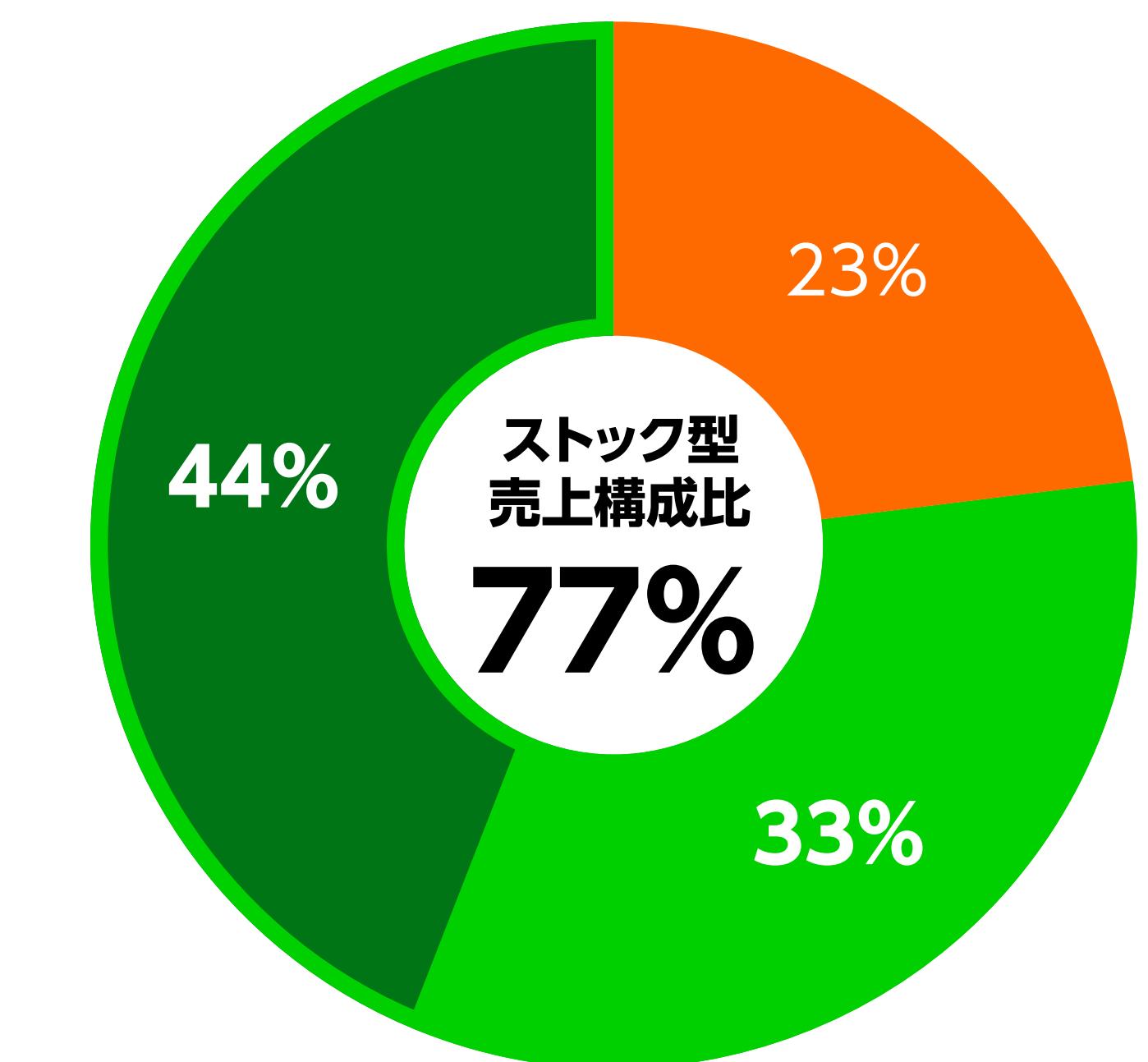
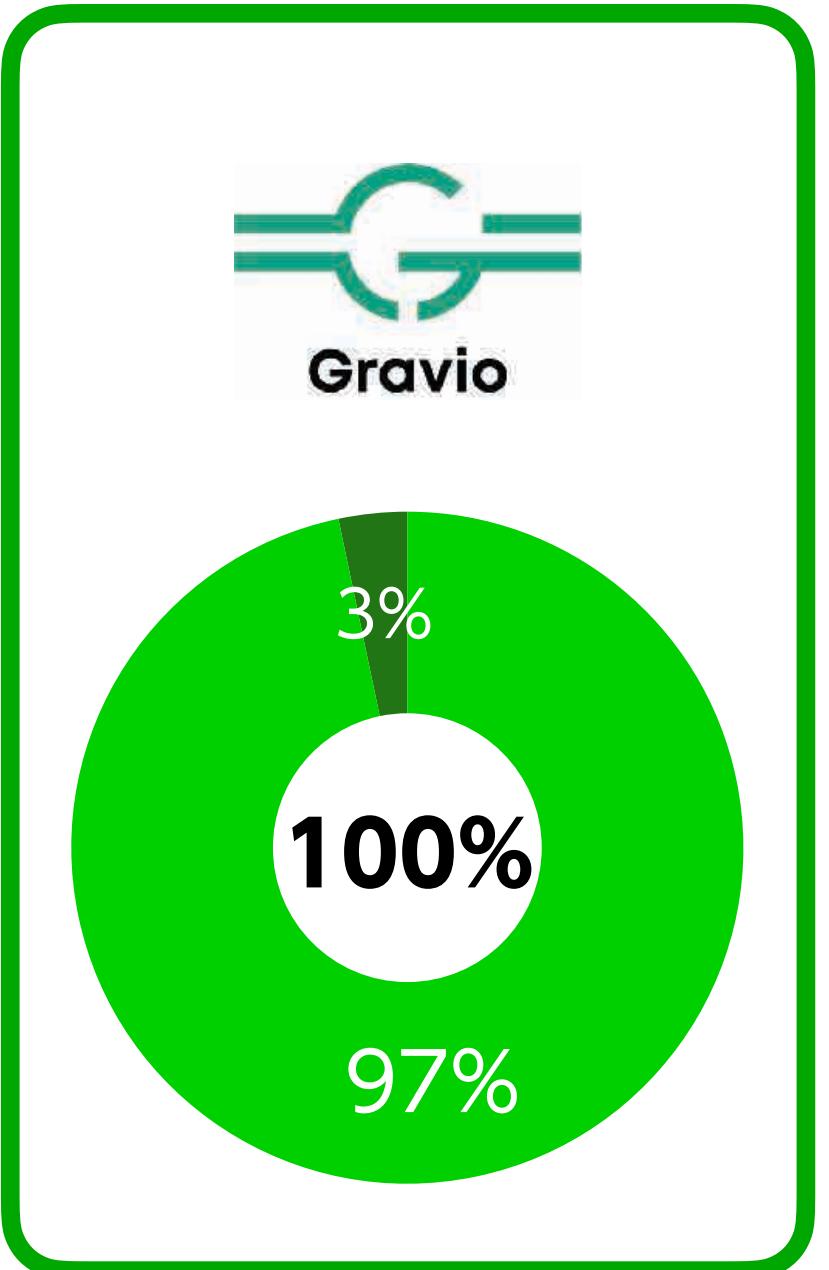
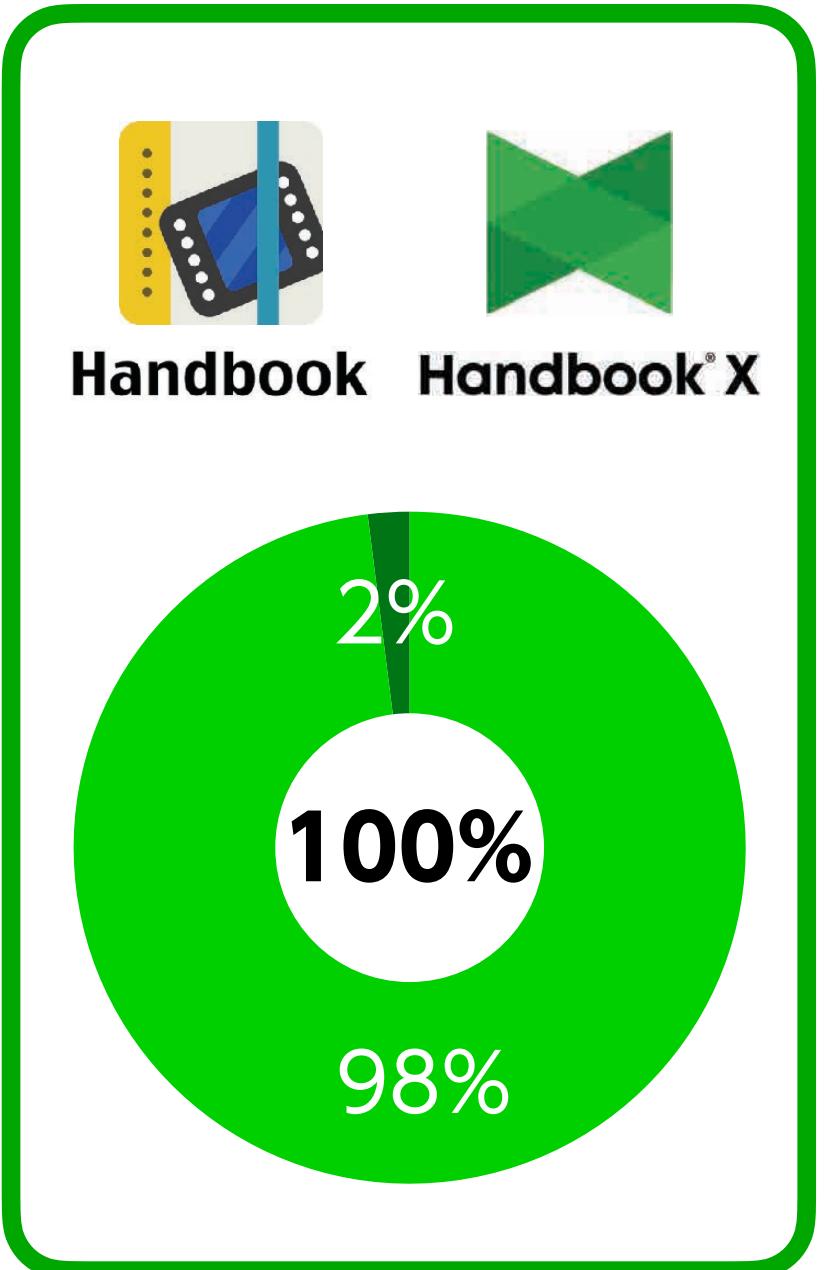
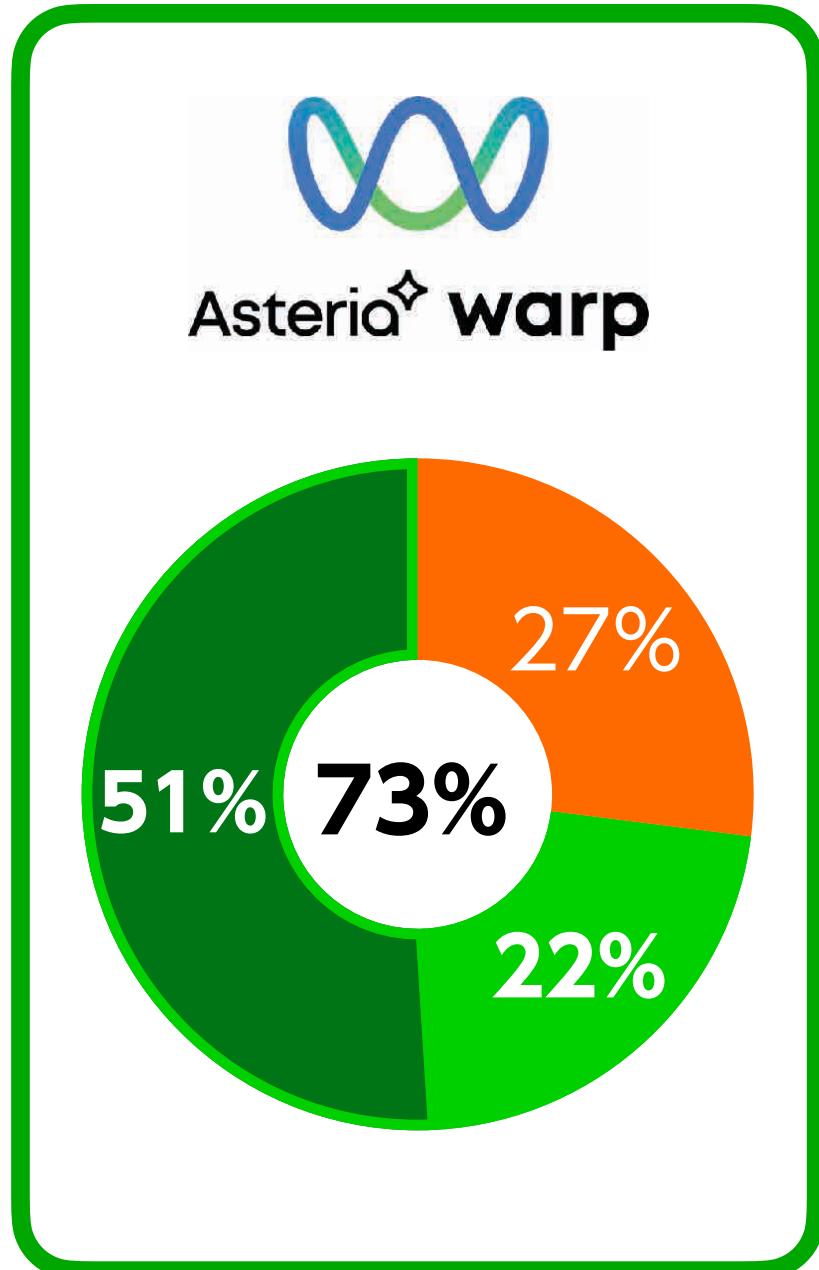
AI/IoTの  
データ連携

海外

AOG事業グループ

ELG事業グループ

# ストック型(継続課金型)売上への転換が進む



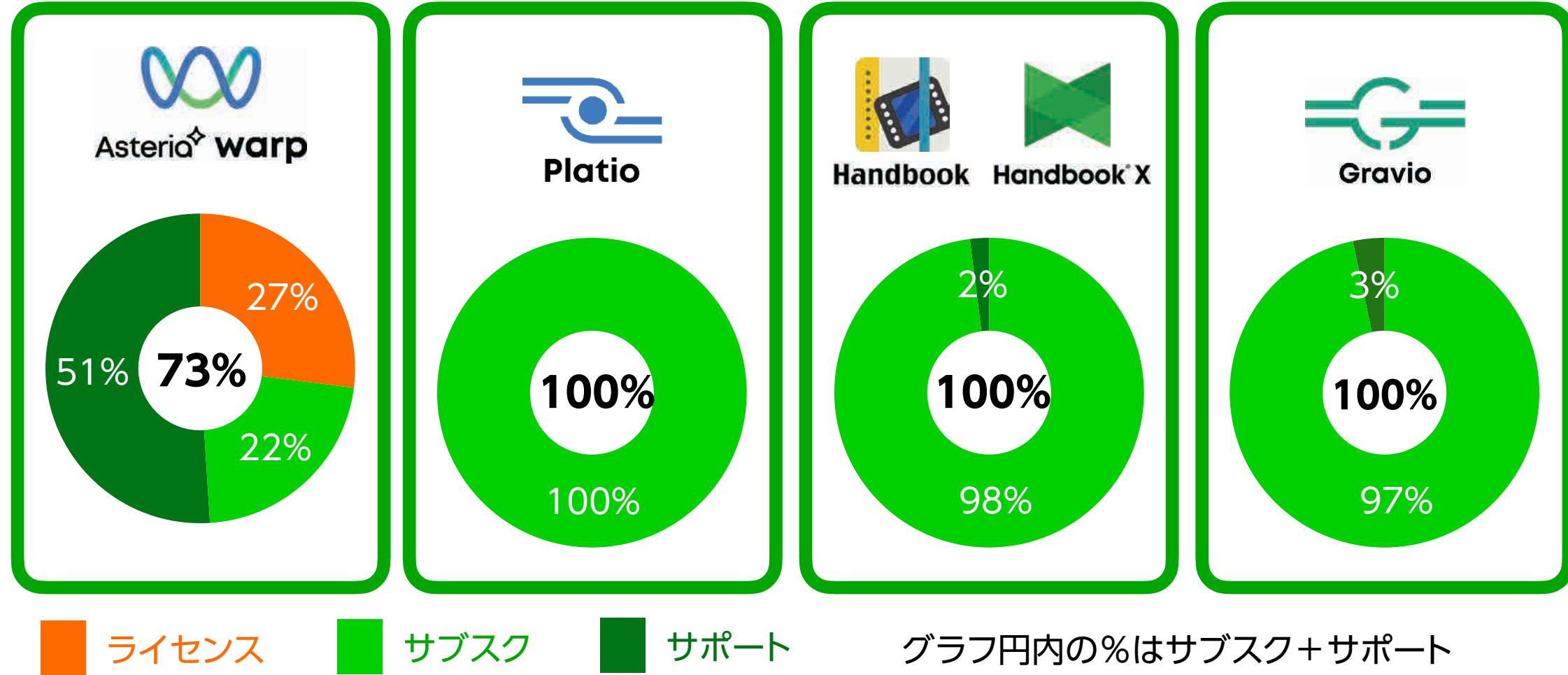
■ ライセンス ■ サブスク ■ サポート

※金額ベース、2025/3 第1四半期実績

グラフ円内の%はサブスク+サポート

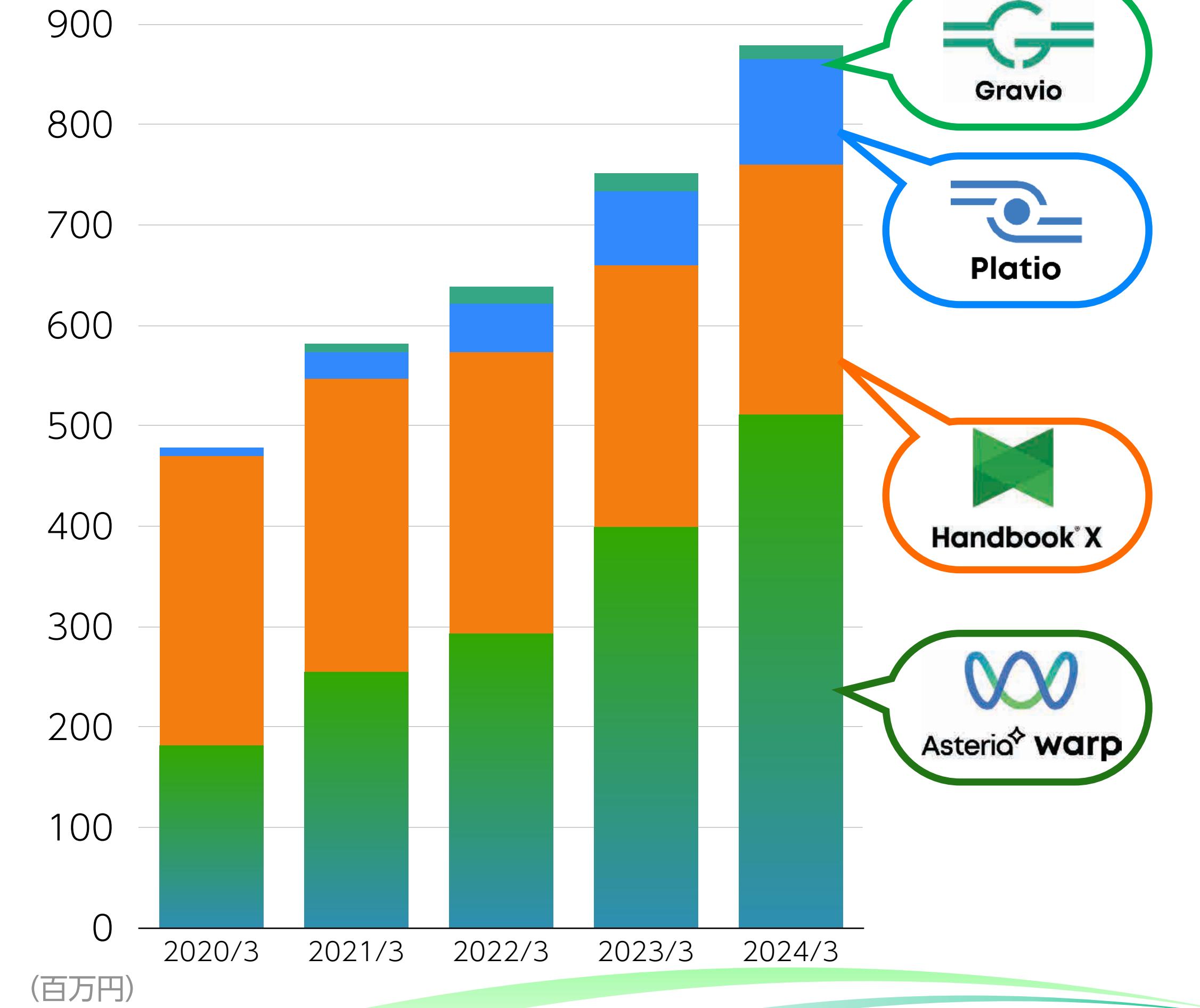
✓ 安定成長の基盤となるストック型売上 (サブスク+サポート) の割合が順調に増加

# サブスク売上は安定成長の源泉



- ✓ サブスクは月次使用料により、**毎月売上が計上**され安定成長を実現
- ✓ 新規開拓だけでなく、**解約率の低減**も売上獲得にとって重要な要素

サブスク製品年間売上推移





# ELG Warp: ライセンスからサブスクへのシフトが加速



サブスク比率**73%**に拡大  
(前年同期比: 6.8%増加)

- ✓ Q1売上として最高の**1.4億円**を記録(サブスク)
- ✓ 新規顧客への販売をライセンスからサブスクへシフトし**売上収益の安定化**へ
- ✓ サブスクは**スマールスタート**が可能なため、地方企業や中小企業でも採用が加速
- ✓ サブスクの**上位版ラインアップ**提供開始

※MRR = Monthly Recurring Revenue (月次継続売上)

※ARR = Annual Recurring Revenue (年次継続売上)



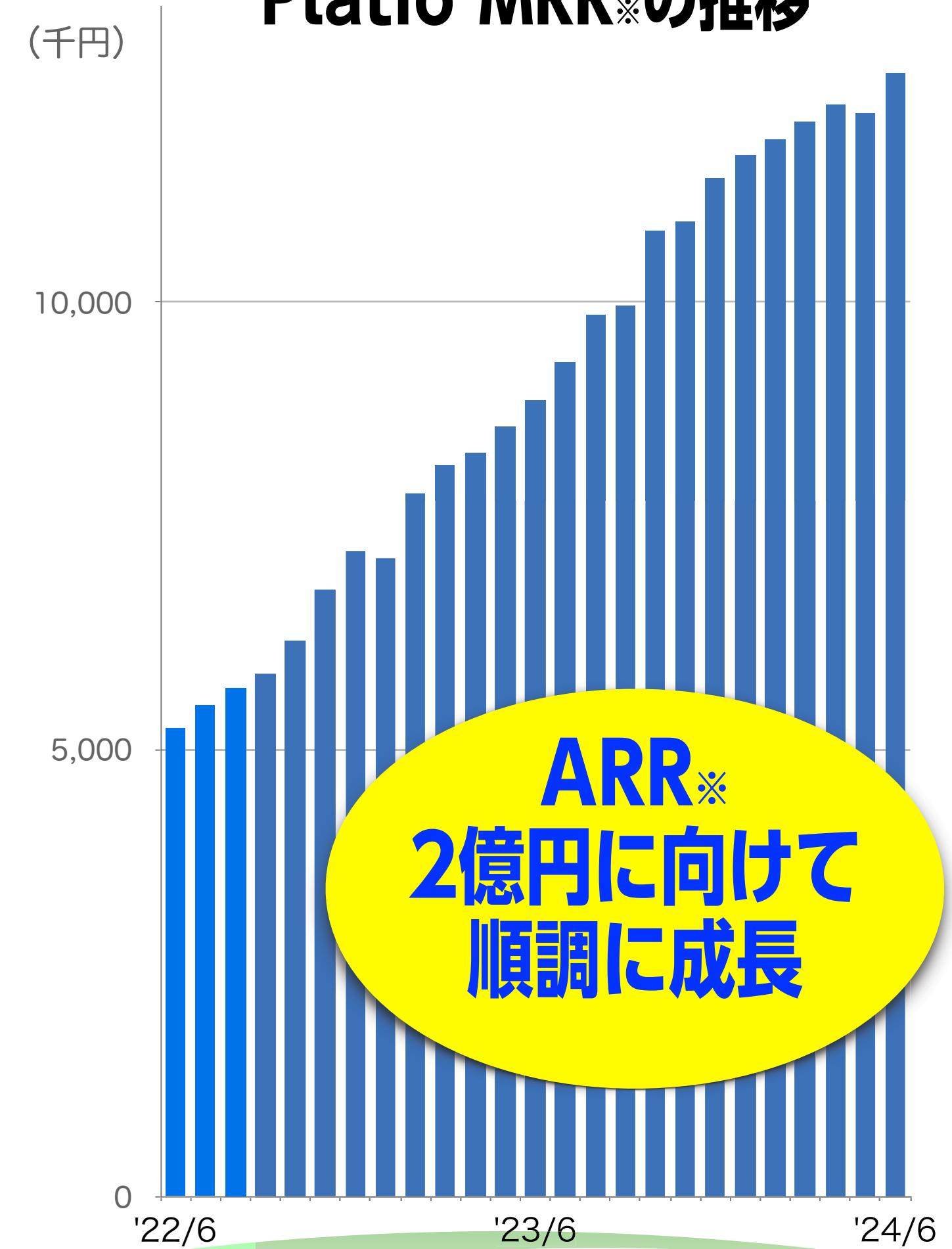


Platio

- ✓ 第1四半期売上が前年同期比**44%増**
- ✓ **Platio Connect**などPlatioファミリー拡充により**顧客単価向上**
- ✓ **2024年問題**(残業時間規制)対応のために、引き続き物流・建設業界の引き合いが拡大
- ✓ 様々な用途での**導入事例**が続々と公開され、**防災アプリ**の事例も増加

※MRR = Monthly Recurring Revenue (月次継続売上)

※ARR = Annual Recurring Revenue (年次継続売上)





2024年6月19日発表

## ◆東南アジアのAI開発企業

- ✓ ノーコードで顧客個別の推論モデルを構築・展開できる「SamurAI」
- ✓ NVIDIAのパートナー企業



*"Our software leverages cutting-edge NVIDIA GPU-accelerated computing to achieve superior AI vision inference and training performance that improves operational efficiencies and meets various customer requirements. With NVIDIA Triton, TensorRT, and DeepStream technologies, and most importantly, the power of NVIDIA GPU computing, we can deliver."*

(C)

tapway

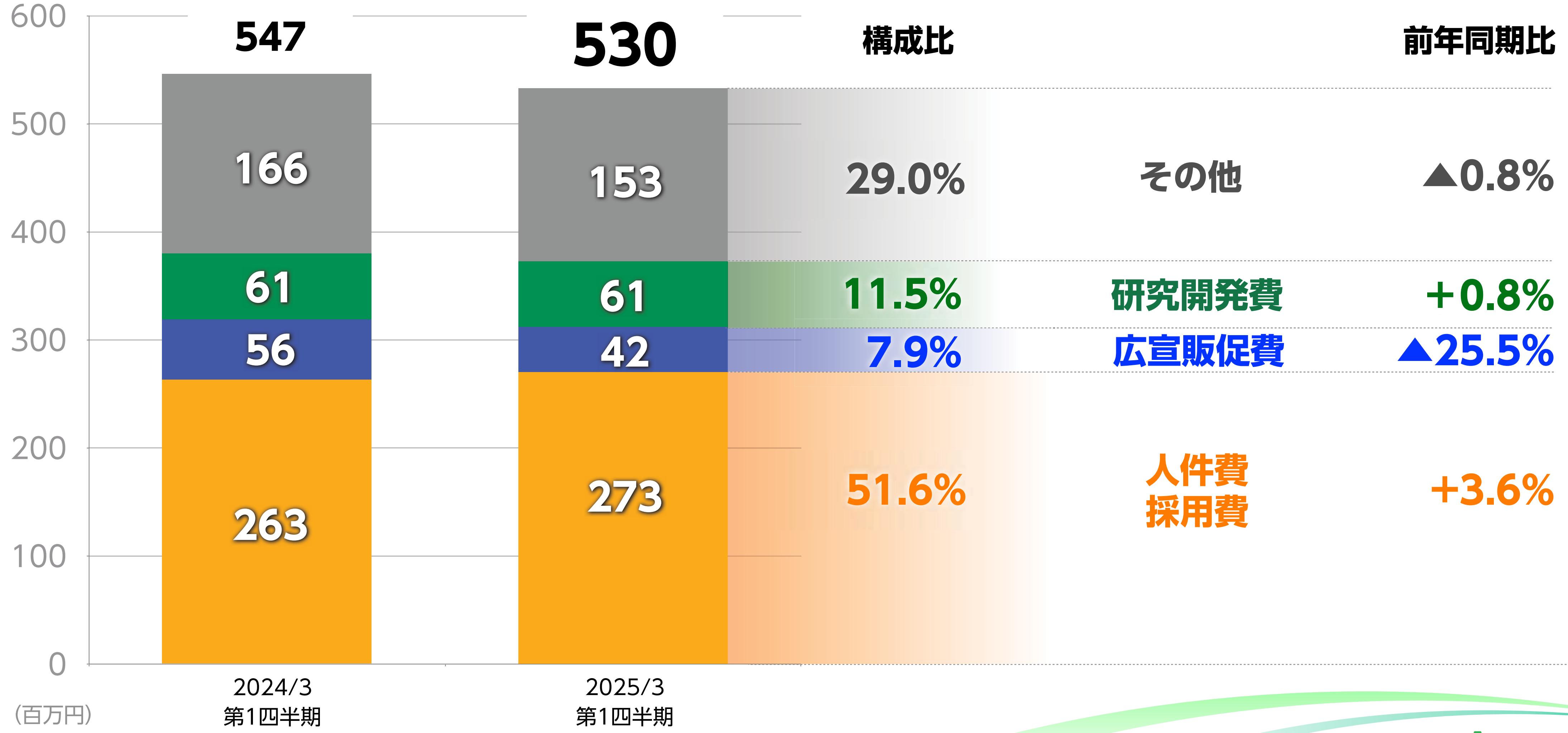
Toll Payment Operations

## ◆共同でマレーシアのイベントに出展

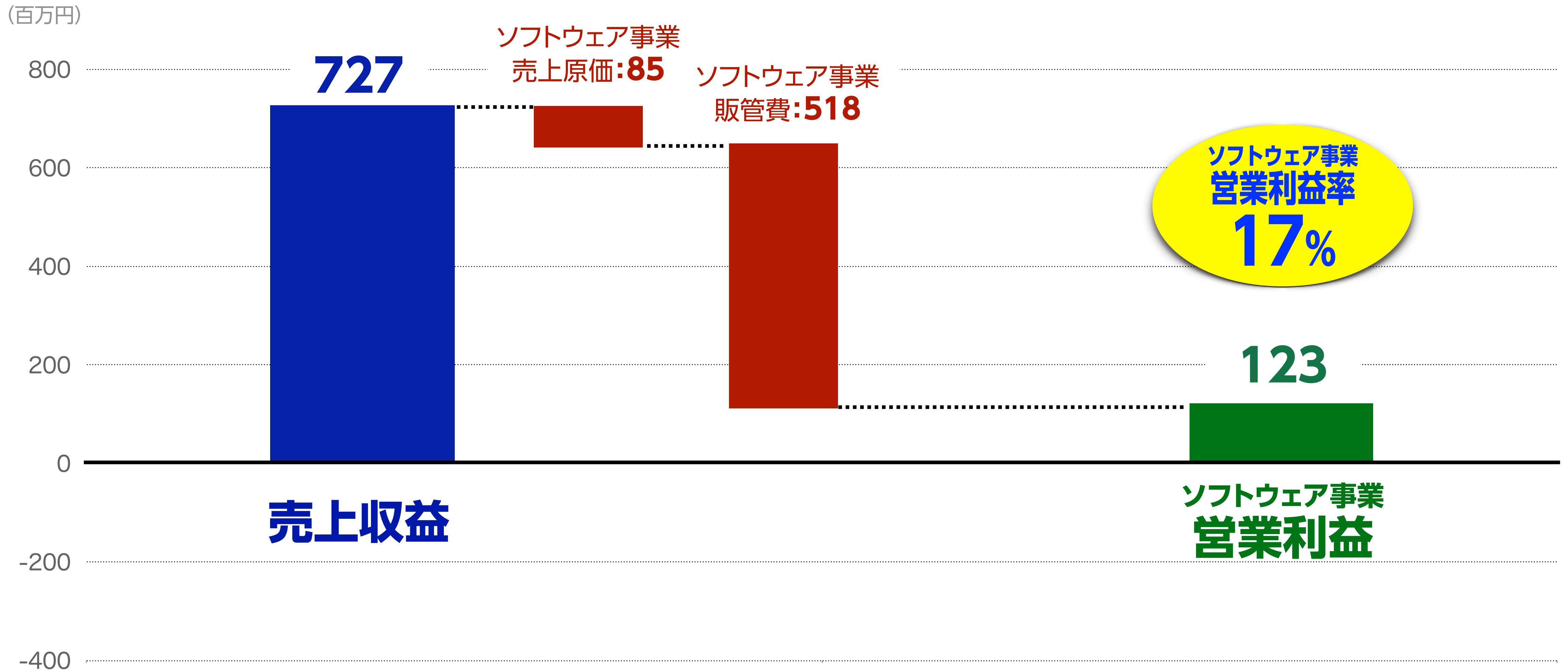
- ✓ 7/17-19 MIFB(Malaysian International Food & Beverage Trade Fair)@クアラルンプール



# 販売管理費の推移(前年同期比)

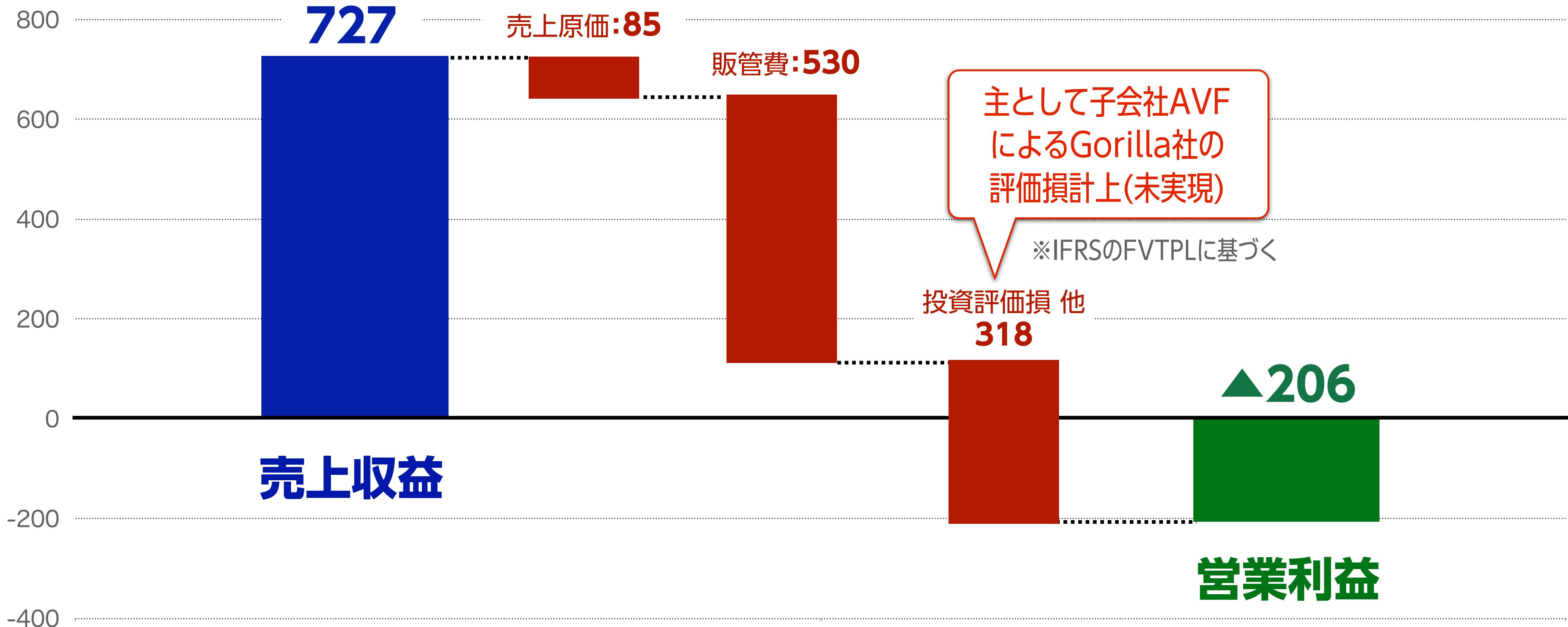


# ソフトウェア事業: 売上収益から営業利益まで



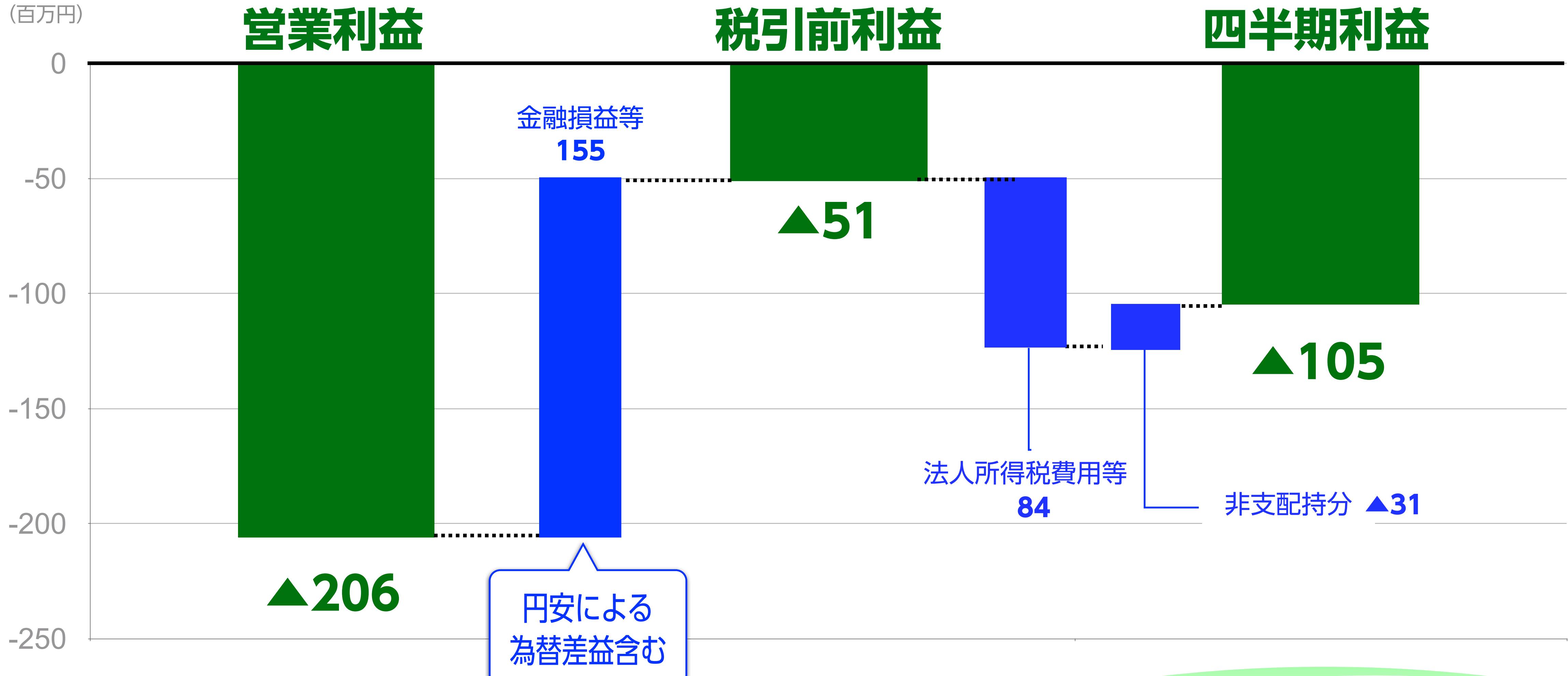
# 連結: 売上収益から営業利益まで

(百万円)



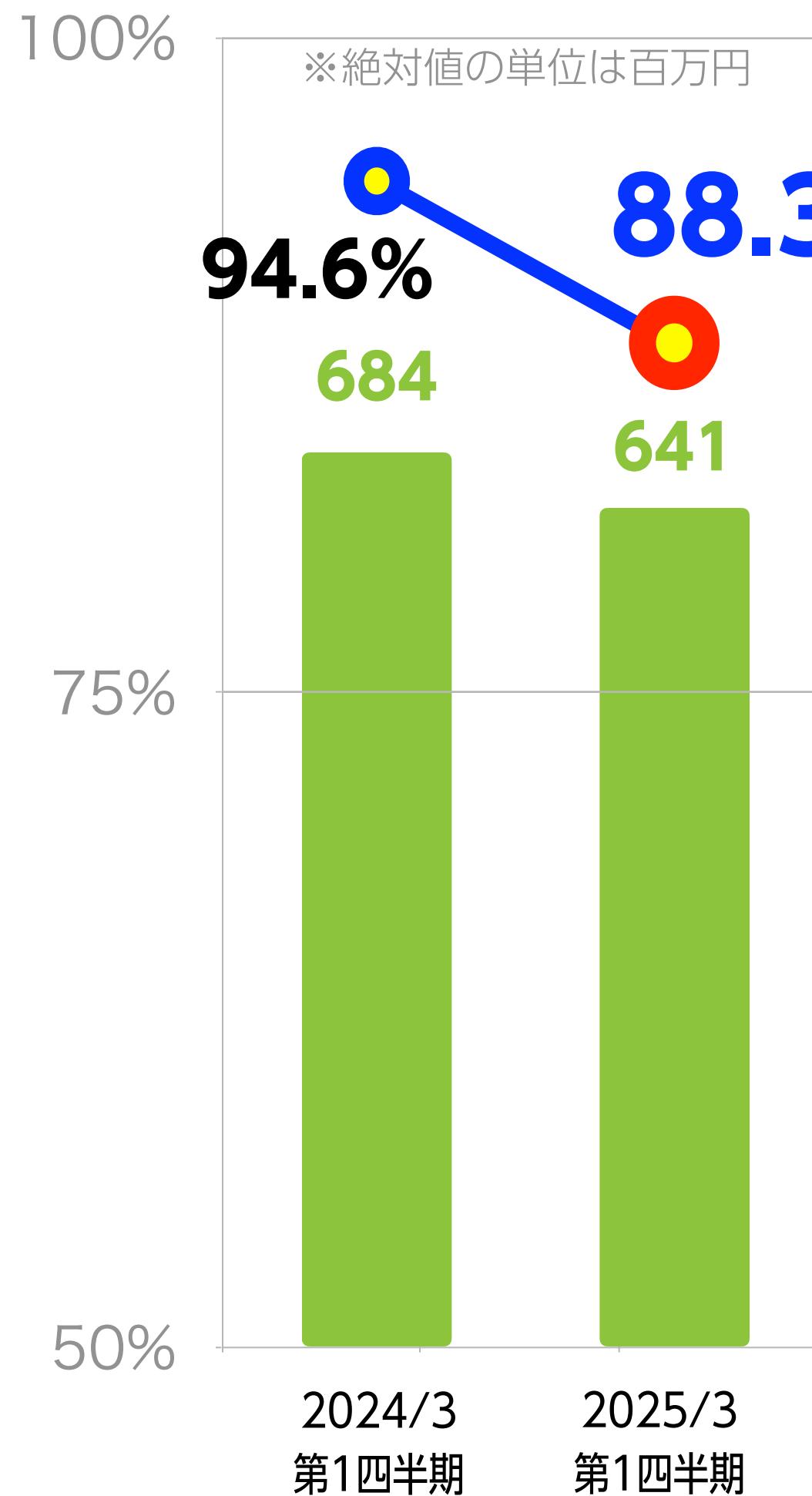
# 連結: 営業利益/税引前利益/四半期利益

(親会社の所有者に帰属する)

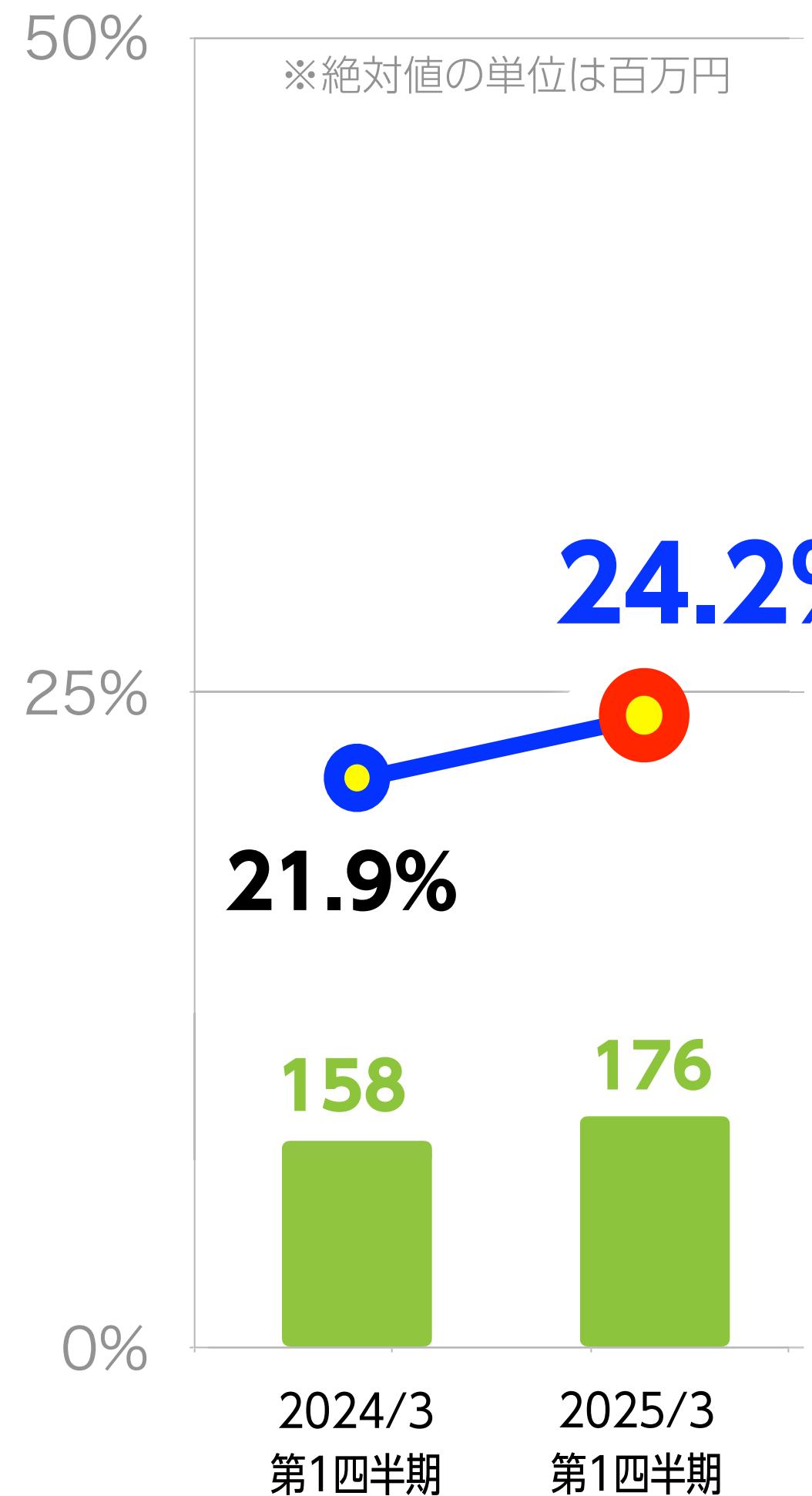


# 主な経営指標の推移

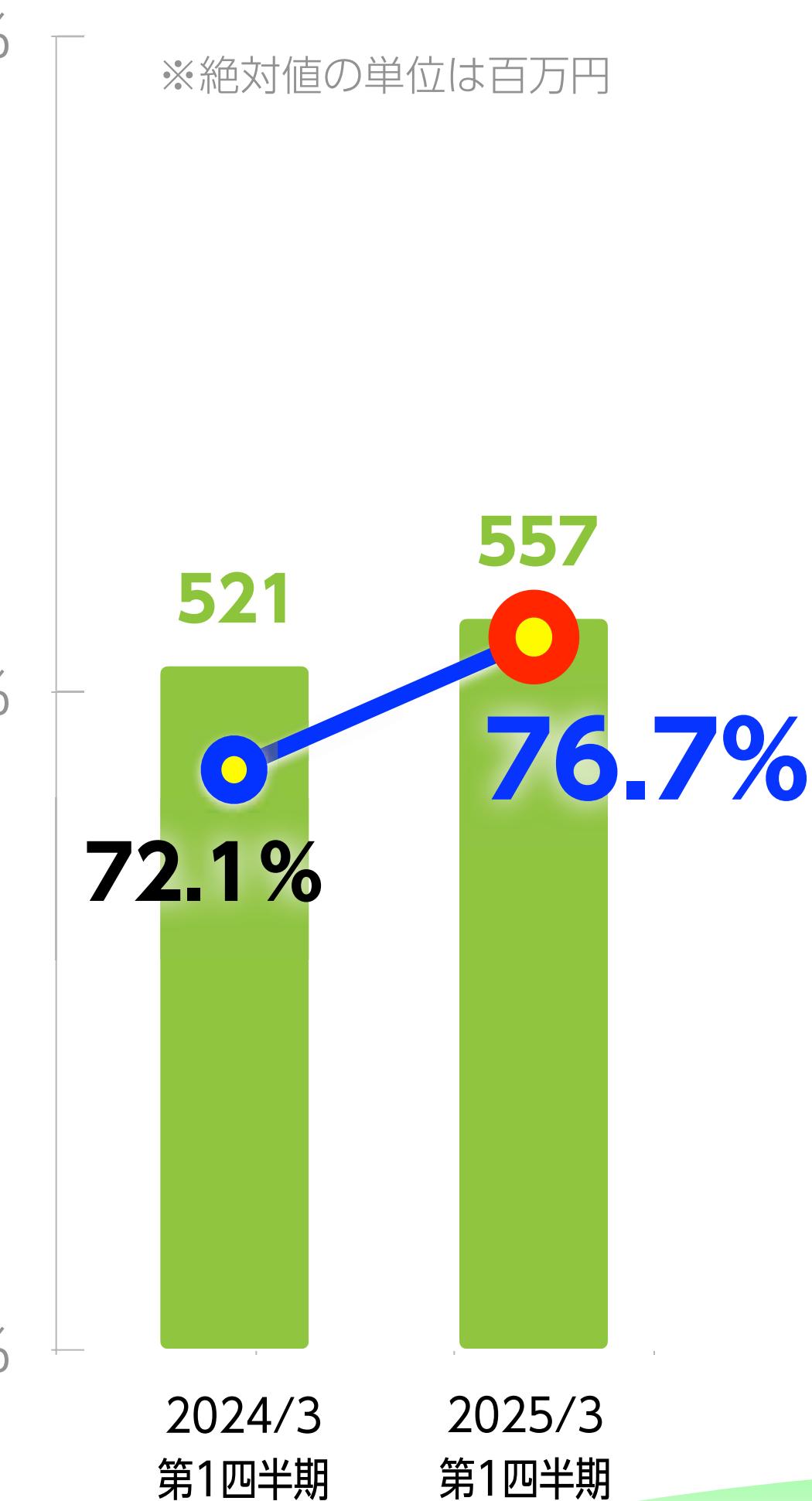
## 売上総利益/率



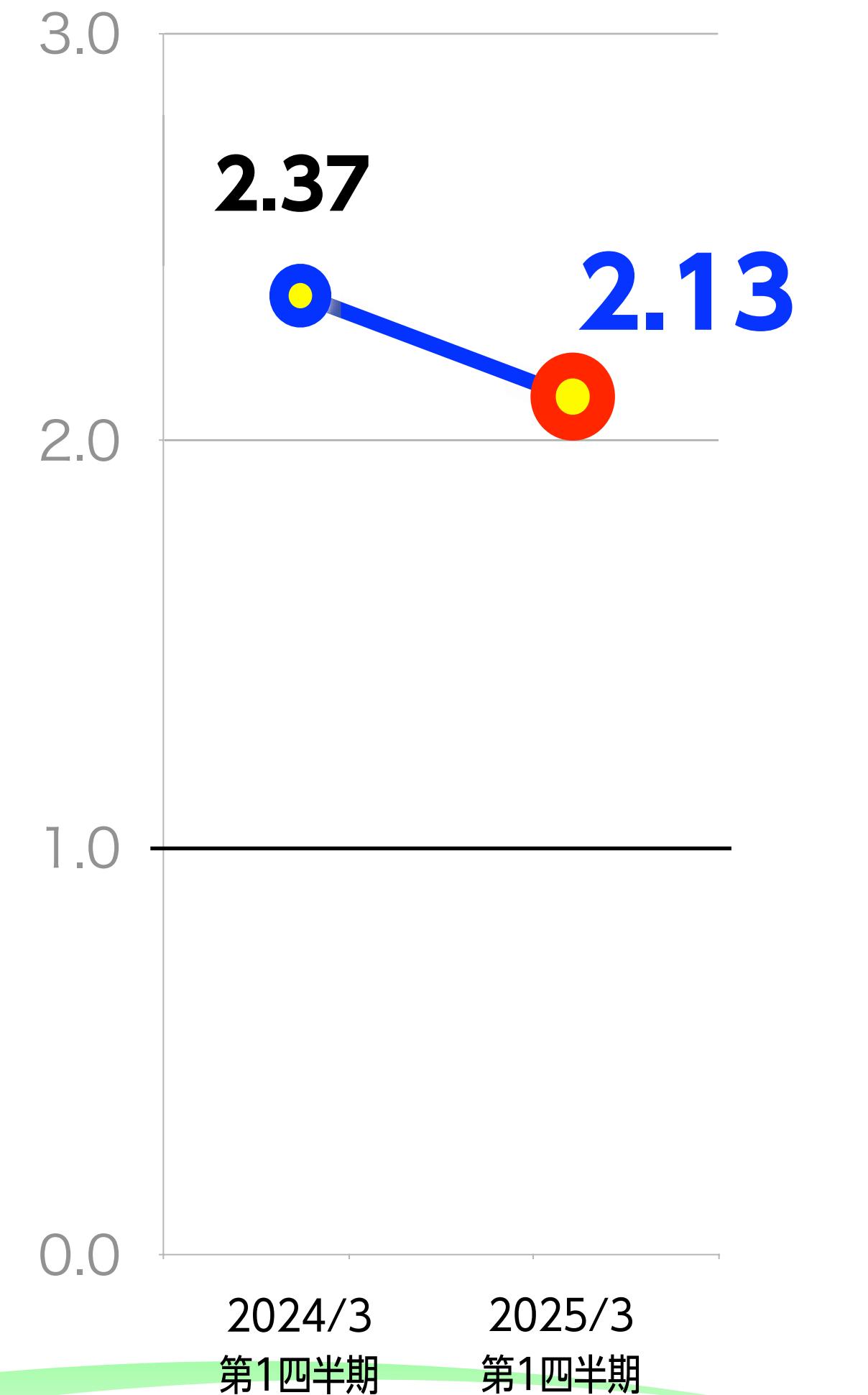
## 調整後EBITDA/率



## 継続型売上/率



## PBR(株価純資産倍率)





ソフトウェアで世界をつなぐ

# 成長のための施策



# 継続する社会課題は新たな需要を生む

## ◆ 人手不足・人材不足

→デジタル化により必要人数や残業を削減

## ◆ 2025年の崖 (出典:経済産業省DXレポート)

→レガシーシステムの刷新＆新技術への対応

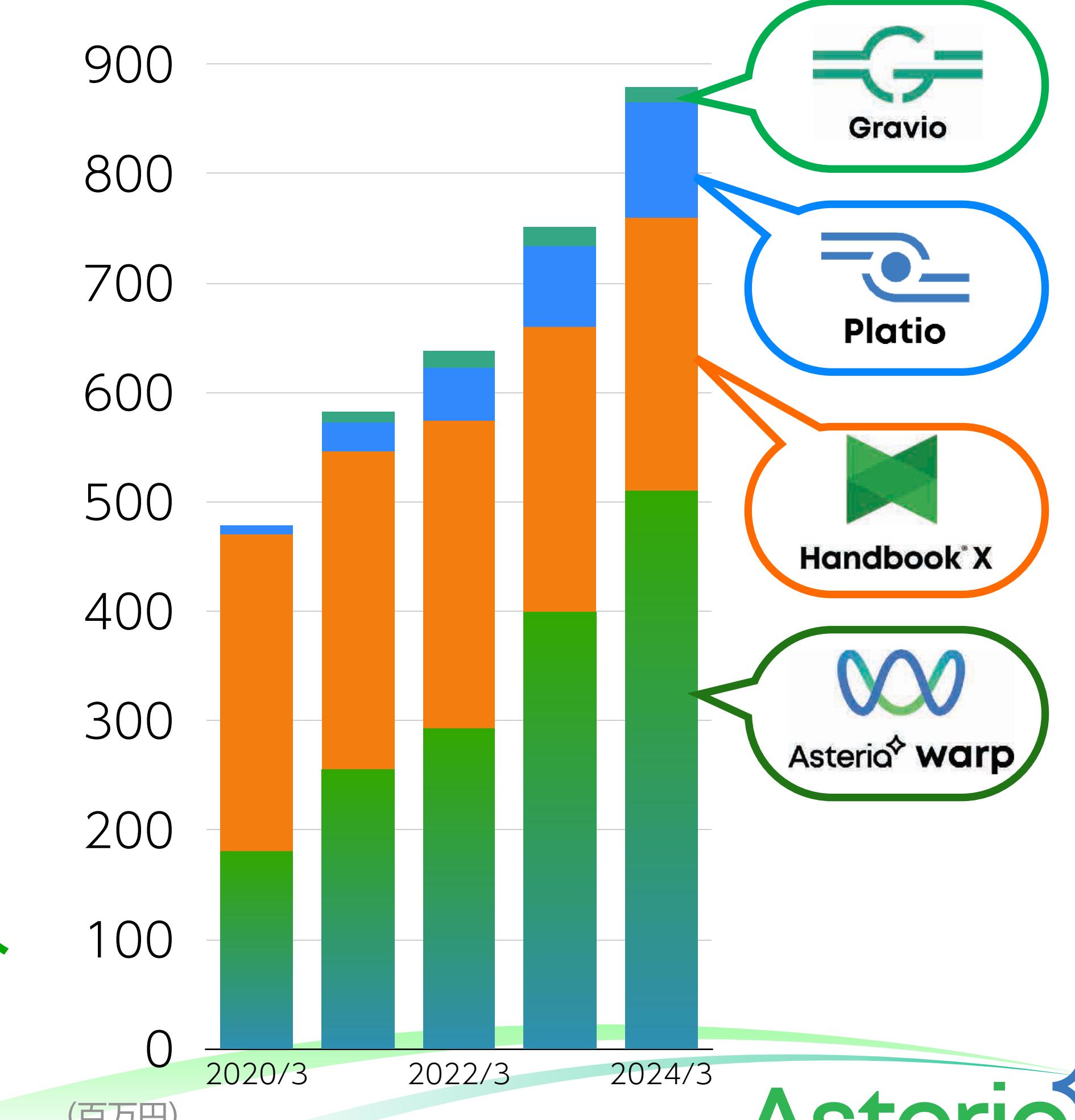
## ◆ SAP2027年問題 (旧版ERPの保守終了)

→システム更改におけるデータ連携需要が拡大

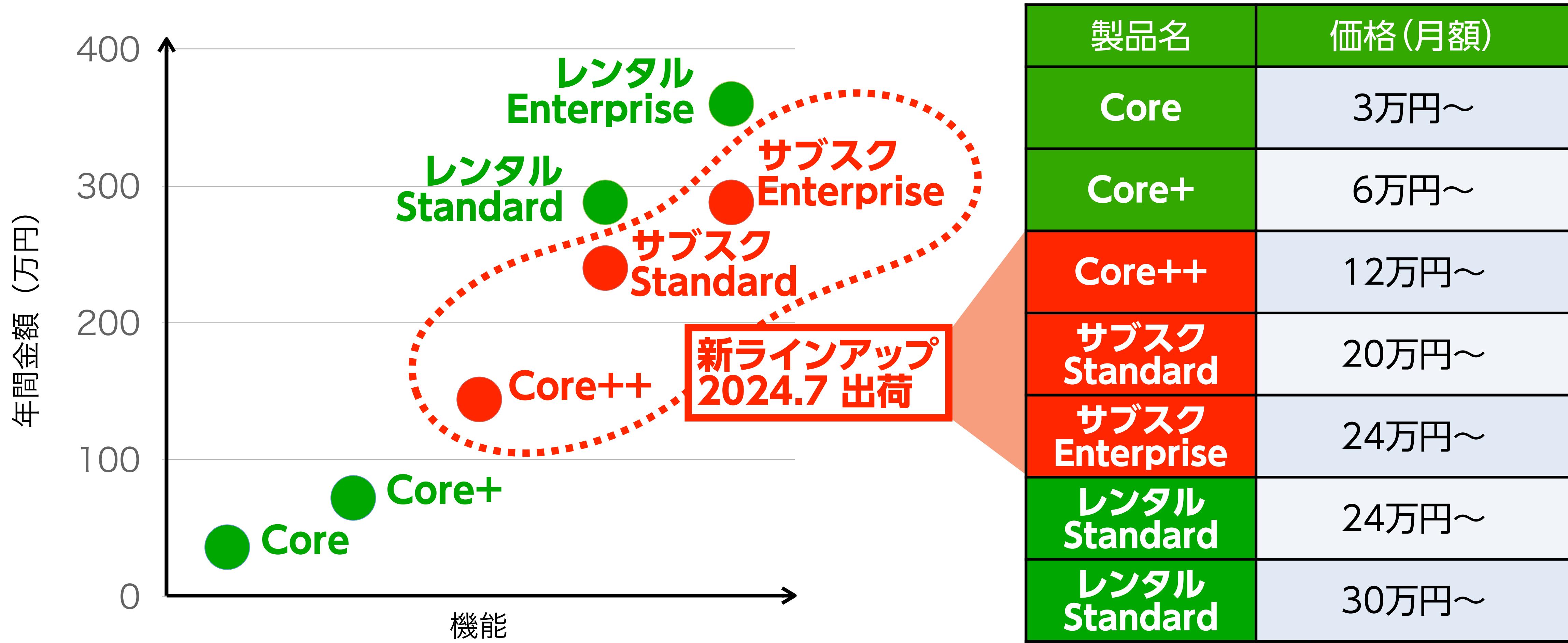
## ◆ デジタル行政改革

→システム基盤刷新＆ガバメントクラウドの導入

サブスク製品年間売上推移



- ◆ Coreの上位版(Core++)とフル機能サブスク版(Standard, Enterprise)を投入



## ◆Platio Connect販促強化

社内データや現場データを連携＆活用

- ✓ アプリ作成からデータ連携までノーコードで完結
- ✓ 短期間かつ低コストで構築可能
- ✓ 月額9万円～顧客単価向上へ

### Platio Connect × Excel



業務日報アプリを作成  
現場では日々アプリから手軽に登録

レポート出力



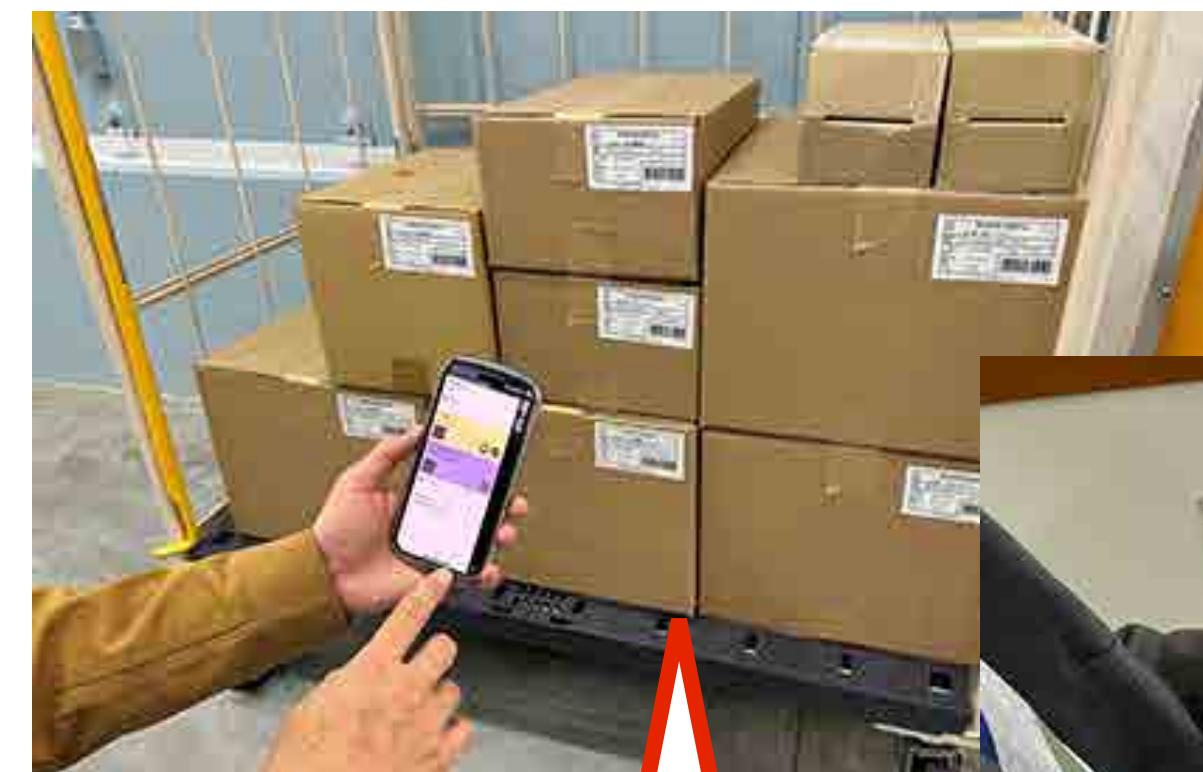
項目	内容	時間
1	業務日報登録	午後 17:30 (7.5時間)
2	2回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
3	3回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
4	4回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
5	5回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
6	6回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
7	7回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
8	8回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
9	9回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
10	10回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
11	11回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
12	12回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
13	13回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
14	14回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
15	15回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
16	16回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
17	17回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
18	18回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
19	19回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
20	20回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
21	21回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
22	22回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
23	23回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
24	24回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
25	25回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
26	26回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
27	27回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
28	28回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
29	29回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
30	30回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
31	31回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
32	32回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
33	33回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
34	34回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
35	35回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
36	36回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
37	37回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
38	38回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
39	39回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
40	40回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
41	41回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
42	42回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
43	43回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
44	44回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
45	45回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
46	46回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
47	47回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
48	48回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
49	49回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
50	50回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
51	51回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
52	52回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
53	53回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
54	54回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
55	55回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
56	56回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
57	57回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
58	58回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
59	59回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
60	60回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
61	61回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
62	62回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
63	63回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
64	64回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
65	65回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
66	66回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
67	67回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
68	68回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
69	69回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
70	70回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
71	71回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
72	72回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
73	73回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
74	74回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
75	75回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
76	76回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
77	77回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
78	78回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
79	79回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
80	80回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
81	81回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
82	82回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
83	83回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
84	84回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
85	85回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
86	86回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
87	87回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
88	88回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
89	89回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
90	90回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
91	91回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
92	92回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
93	93回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
94	94回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
95	95回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
96	96回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
97	97回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
98	98回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
99	99回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)
100	100回目で業務日報登録	午後 18:30 (0.3時間)

アプリのデータを元にExcelデータを自動生成  
管理者は見たい形に加工したデータを確認

## ◆2024年問題/人材不足をアプリで解決

現場業務のアプリ化を積極プロモーション

- ✓ 物流・建設業界の新規顧客開拓
- ✓ 既存顧客の全社利用などアップセルを加速



置き配式の配達状況を  
アプリで確認(洛西貨物)





- ◆オリオンビール(沖縄県)
  - ✓受注管理システムなどを  
ノーコードで連携
  - ✓受注業務のデジタル化・  
自動化で工数半減へ

- ◆日鉄エンジニアリング(東京都)
  - ✓海底パイプラインの施工記録  
をノーコードでアプリ化
  - ✓通信圏外の海上での利用も
  - ✓英語表記で多言語対応も実現

- ◆JAつがる弘前(青森県)
  - ✓りんごの在庫管理をアプリ化
  - ✓脱FAX&脱ペーパーを実現
  - ✓在庫管理業務工数を  
年間500時間削減

◆Gravio用カスタムAIモデルの作成が可能に

- ✓ Tapway SamurAIを統合
- ✓ 各社オリジナルのモデルを開発

◆東南アジアへの販売

- ✓ AIoT SuiteとしてGravioを販売
- ✓ マレーシア、シンガポールから

◆共同マーケティングを開始

2024年6月19日発表



報道発表資料



2024年6月19日  
アステリア株式会社  
Tapway Sdn Bhd.

アステリアとマレーシアのAI企業Tapwayが事業提携しAI・IoTサービスを共同開発  
完全ノーコードの製品からAI教育までをトータルに揃え、2024年7月に提供開始  
～マレーシアをはじめとした東南アジア市場と日本市場へ相互に新規参入～

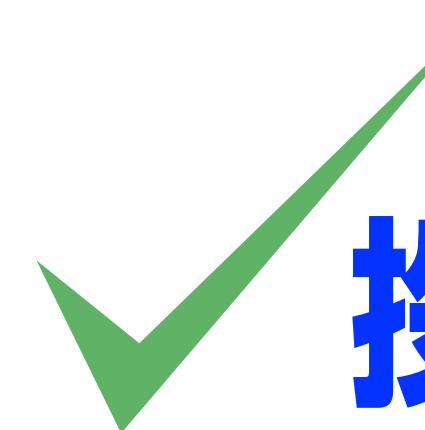
アステリア株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下アステリア）と Tapway Sdn Bhd.（本社：マレーシアセランゴール州、CEO：Chee How Lim、以下 Tapway）は、エッジAI・IoTビジネスにおける製品開発およびマーケティングに関する事業提携を開始することを発表します。この事業提携により、アステリアはマレーシア、シンガポール、フィリピン等東南アジアのAI市場に新規参入するとともに、Tapwayは日本市場への初進出を果たします。

■各社製品の概要

Tapwayは、東南アジアで様々な企業の事業運営に貢献するAIソリューションを提供しているAI開発企業です。顧客のニーズに応じて車両、人、物体などを識別するためのAI推論モデルを構築・展開できるソフトウェア「SamurAI」を開発・提供しています

このソフトウェアは、マレーシアの高速道路で導入されており、通行料支払確認、交通渋滞の緩和、労働力不足の解消、効率の向上、コストの削減を実現しています。輸送分野以外でも、小

# アステリア(3853)第1四半期まとめ



**投資事業のマイナスだが影響が大幅に減少**

(評価減は現金に影響なし)



**調整後EBITDAは3ヶ月で1.8億円超の黒字**

(ソフトウェア事業の実力値)



**背景はサブスク製品(Core,Platio)の好調**



**ソフトウェア事業はELG,AOGで新たな成長へ**



# 2025年3月期 Q1決算説明会

**お問い合わせ:03-5718-1655**



LINEによるIRニュース

本説明会及び説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点での入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご承知ください。

(証券コード: 3853)